

平成29年5月定例会会議録

(平成29年5月16日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 5月定例会会議録

- 【開催日】 平成29年5月16日（火）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
高浪 智之 教育委員
倉野 敏郎 教育委員
松永 松喜 教育委員
- 【出席職員】 釜 道治 教育部長
桑田 謙治 教育部次長
中 勇二 教育部政策調整審議員
宮田 径 教育部理事兼教育政策課長
渡邊 裕一 教育部首席審議員兼学校教育課長
有馬 健一 教育部理事兼教育施設課長
廣兼 和久 生涯学習課長
高嶋 宏幸 教育サポートセンター所長
福原 透 博物館未来の森ミュージアム副館長
櫻井 幸枝 学校教育課審議員
- 【事務局】 岩崎 伸一 教育政策課課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課主任
- 【審議事項】 <議案案件>
- ①八市教委議第13号 八代市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について
 - ②八市教委議第14号 八代市公民館条例施行規則の一部改正について
 - ③八市教委議第15号 八代市心身障害児生徒就学指導委員会委員の委嘱について
 - ④八市教委議第16号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
 - ⑤八市教委議第17号 八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について
- <協議案件>
- ①協議第2号 コミュニティ・スクールの導入について
- <報告案件>
- ①報告第8号 学校規模適正化の推進について
 - ②報告第9号 英語教育の推進について

(午前9時55分開会)

【発言要旨】

北岡教育長

2. 教育長報告

前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4月16日 八代史談会定期総会出席

4月19日 新任校長訪問

4月20日 老人クラブ連合会総会

4月21日 春季特別展覧会開会式

4月23日 陸上自衛隊記念行事

4月25日 八代くま川祭り振興会総会

4月26日 新任校長訪問、八代妙見祭保存振興会総会

4月27日 八代市地域婦人会大会、市政協力員協議会総会・懇親会

4月28日 八代市文化協会定期総会及び懇親会

5月8日 教育委員会5月連絡会議、八代人権同和教育推進協議会代表者会

5月10日 校長園長会、熊本県文化財保護協会役員会

5月11日 教育サポートセンター委嘱状交付式

5月12日 九州国際スリーデーマーチ2017式典、八代亜紀絵画コンクール表彰式、八代市 PTA 連絡協議会総会、八代市郡教育関係者歓送迎会

5月14日 わんぱく相撲八代場所開会式

5月17日 全国都市教育長協議会総会（奈良市20日まで）

3. 会議録承認

修正等があったため、次回とする。

4. 議題

〈八市教委議第13号 八代市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について〉

宮田理事兼教育政策課長

現行の多段階、多品目の複雑な対応は、アレルギー事故の原因となるため、学校給食アレルギー対応食提供事業の実施方法について、国の指針に即した対応とする。

変更内容は、今まで制限のなかった対応するアレルゲン食品グループを4グループまでに制限、個別に細かく多段階で対応を行っていたアレルゲン食品を含む料理の提供段階を二者択一の原則的な対応とする。

事業の変更に伴い、提出書類の様式を国の様式に変更する。

【議案第13号 承認】

〈八市教委議第14号 八代市公民館条例施行規則の一部改正について〉

廣兼生涯学習課長

リハーサル室のコインタイマー式冷暖房使用料の徴収を円滑に行うため、410円の使用料を400円に改正する。

北岡教育長

補足するとコインタイマーで利用できる硬貨の種別を細分することは困難である又は高額であるため、現在の使用料のままでは対応ができないということである。

【議案第14号 承認】

〈八市教委議第15号 八代市心身障害児童生徒就学指導委員会委員の委嘱について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

現在委嘱している委員に異動や退職により欠員が生じたため、補欠委員を委嘱する。補欠委員の委嘱期間は、前任者の残任期間の平成30年5月31日までとする。

【議案第15号 承認】

〈八市教委議第16号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

人事異動、氷川警察署八代警察署の統合に伴い補欠委員を委嘱する。補欠委員の委嘱期間は、前任者の残任期間の平成29年8月16日までとする。

【議案第16号 承認】

〈八市教委議第17号 八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき八代市いじめ防止等対策委員会設置条例により設置する委員会委員を委嘱する。

【議案第15号 承認】

〈協議第2号 コミュニティ・スクールの導入について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

熊本県では、国が示すコミュニティ・スクールへの移行を視野に、各学校の裁量で要項等を作成し、協議会を開くなど国が目指すコミュニティ・スクールよりも権限や役割が緩やかになった熊本版コミュニティ・スクールの推進を図っている。また、今年度からは、県立学校において昨年度の熊本地震を踏まえて防災型コミュニティ・スクールを導入すると聞いている。八代

市では、学校の裁量に任せて7校の小学校、5校の中学校が熊本版コミュニティ・スクールを導入しているが、国や県の方針を受け、平成32年度から小学校において次期学習指導要領が全面実施になることから平成31年度末を期限として熊本版コミュニティ・スクール導入の推進を図っていきたいと考えている。今後の方向性についてご示唆いただきたい。

また、現在各学校で導入している学校評議員制度について、コミュニティ・スクールと共存していくのか、又はコミュニティ・スクールを導入した学校は評議員会を閉じてコミュニティ・スクールに移行するのか、学校評議員会の今後についてもご示唆いただきたい。

さらに、平成32年度に全ての学校で熊本県が目指している熊本版コミュニティ・スクールが導入された後、将来国が目指すコミュニティ・スクールの導入についてはどのようにしていくのか、どのような段階で進めた方がよいのかご意見をいただきたい。

倉野教育委員

コミュニティ・スクールについて、昨年京都で文科省の説明等について参加した。目指すものが何なのか、各地域でどのような取組が行われているか、いろいろ話聞くことができた。

学校評議員として学校評議員会でいろんな意見を述べるが、それについての評価がないので、自らが学校評議員の存在価値が全くわからない部分がある。学校評議員制度そのものがどのように効果があるのかどうか、そしてそれを現場でとらえているかどうかというのがわかれば非常にありがたい。教育委員会としては、学校評議員制というのがどのように有効なものになっているかを学校長からまとめて、その実態をつかんでいるのか。

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

評議員制度については学校教育課において年度末に各学校長から報告書を求めている。評議員の意見が学校経営に寄与した内容を書くようにしており、記述もされている。各学校が評議員の目的である校長の求めに応じて意見をもらい学校経営に生かしているのは事実である。学校長が人選をし、市教委が委嘱した評議員だが、地域の中で公式の場で地域の方々の意見を聞くというのは現在これしかないため、校長としては安心して学校経営ができているのではないかと思う。

しかし、熊本版コミュニティ・スクールを導入している12校は、評議員を主なメンバーとして考えており、地域とともにというところから似たような組織が多様化しているため、整理

をしていかなければ人選も大変で、選ばれた方もいろいろな会議に行かなくてはならない、といった課題もあると考える。

学校評議員の意見が活用されているのは間違いなく、存在価値はあると思うが、両立が望ましいのか、一体的にした組織の方が八代市にとって良いのか、という点ではまだ明確には考えていない。

倉野教育委員

思い思いに感じたことを言い、それが現場でどう生かされているのか結局明確にならないままで終わっているような感じがする。全ての学校かどうかはわからないが問題点をしっかり学校評議員会に生かしてもらいたい。

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

校長・園長会議で、学校評議員会において実施する授業参観の目的、参観の観点を確認するように指導したことがある。各学校の評議員制度についてもさらに充実するために再度話をしていきたいと思う。

高浪教育委員

評議員については、評価のいろいろな改善を指導したとか指摘したとか言われたため安心しているが、地域に応じた対策を考えた方がいいのではないかと。

評議員との関わり方については、年間のいろんなまとめもとっておられるようで本当にその場でやっていただけてありがたいなと思っている。

十分検討されて、実施されているところのいろんな研究、視察などもした方がいいのではないかと。机上だけで考えていろいろ判断するよりは体験上、どのようなメリット、デメリットがあるか、とかというのもやはり必要な気がする。

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

今回コミュニティ・スクールについては初めて提案させていただいた。すぐに何かの結論をと考えているわけではなくて、現行の評議員制度や生涯学習課の地域協働も検証しながら、八代市にあった地域とともにある学校づくりを目指したいと考えている。熊本県が提唱している熊本版コミュニティ・スクールはとても取り組みやすいと考えているが、これも学校長の考えによって導入したり、していなかったりという状況もあり、校長会からも、本市として将来どのような方向性を考えているのか知りたいという意見もあり、今回まず早めの提案をさせていただいた。さまざまな導入校の成果や課題等も実際に聞き取り、見取りをした上で、また再度提案させていただければなどと考えている。

松永教育委員

熊本版コミュニティ・スクールはいいんじゃないかと思う。小学校の運動部活動が30年度から始まる時にはこういう体制でいった方がいいという地域委員会、校区委員会などを結成するように、と今提案をしており、会議もそういう段階で進めていっている。このようなものがいくつもあると校長先生も大変だし住民も大変だと思う。だから一本化をできるような方向で考えてもらえればと思っている。

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

社会体育移行のために組織している各校区の様子はまさに熊本版コミュニティ・スクールととても似ている状況が既にできあがっている。特に小学校については現在の校区委員会の組織を将来的に熊本版コミュニティ・スクール等に移行していくとうまくいく校区もあるというふうには考えているため学校が無理なく取り組めるようなものを模索していきたいと考える。

高浪教育委員

いいと思う。

北岡教育長

コミュニティ・スクールの導入については、子供や学校が抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためにということで行っていくものであるため、より効果があるように、重複したような組織、人選、同じような会議に何回も出て行かないといけないという委員になられた方々の負担なども十分考慮しながら、各校長の意見またはPTAをはじめとする地域の意見等もしっかり聞きながら、熊本版コミュニティ・スクールをまずは導入という方向で進んでいきたいということによいか。

教育委員

はい。

北岡教育長

熊本版コミュニティ・スクールが導入された後のコミュニティ・スクールの導入は今後でよろしいですか

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

はい。

北岡教育長

丁寧な説明を行いながら進めていきたい。

〈報告第 8号 学校規模適正化の推進について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

・金剛小学校敷川内分校について

3月18日に閉校記念式典が開催され、3月31日をもって閉校となった。4月10日の始業式の日スクールバスの運行が開始された。学校教育課からもその様子を見てきた。子どもたちは先生方の支援もあり毎日楽しく学校生活を送っている。

・八千把小学校浜分校について

本年度4月24日に地域懇談会を開催し、統合に概ねの同意をいただいた。浜一、浜二の町内会総会で同意を得たことから地域懇談会でその報告があったところだ。明日5月17日、第1回統合準備委員会を立ち上げる。目処としては、8月の教育委員会定例会で最終的な審議をお願いし、9月議会に提案したいと考えている。平成30年3月31日閉校、本校との統合というところで現在話を進めている。

・鏡西部小学校について

これまで4回の懇話会等を重ねてきたが、地域の方々の意見は大きく変わっているところはない。先月16日に鏡西部小を守る会が主催をされた「鏡西部小学校区あるべき姿を考える会」が開催された。60名の参加があったと聞いている。県議会議員や市議会議員も出席されたと聞いている。この時に、熊本大学の教授の講演があり、その様子が4月20日の熊日にも掲載された。今後も地域住民や保護者の方々と顔を合わせる機会をもって事務局と地域、保護者との信頼関係をさらに築きながら、より具体的で建設的な意見交換を今後も継続してまいりたいと考えている。

〈報告第 9号 英語教育の推進について〉

渡邊首席審議員兼
学校教育課長

国及び県の方向性を踏まえ、英語教育の推進を図りたいと考えている。本市の英語教育の抜本的充実を図るため、「子供が英語に親しむ環境づくり」と「幼稚園及び小・中学校における英語教育の推進」の2つを柱として具体的な取組を行うことで、学力の向上とグローバル人材の育成を目指したいと考えている。小学校では平成32年度、中学校においては平成33年度から全面実施の次期学習指導要領において、小学校の英語教育が大きく変わる。現在、5・6年生で行っている外国語活動を3・4年生で行っていくことになる。

また、5・6年生については英語を教科として位置付けていくことになる。

本市においては、来年度から、国が示している先行実施を行いたいと考えており、各小学校が先行実施を含め、英語教育にスムーズに取り組むことができるような体制づくりのため

に、今年度、小学校英語教育検討委員会を立ち上げた。

1年間で8回の検討委員会を行い、現在の教育課程の中に英語教育をどう組み込んでいくのかについての検討や授業で活用できるような活動例などを集めた参考資料の作成などを行う予定にしている。

また、学校訪問や校内研修推進事業における指導に加えて、今年度は「小学校外国語活動担当者会」を開くなどして、全ての小学校の教員に対し、英語の教科化及び指導の在り方について共通理解を図りたいと考えている

その他、ALTの効果的な活用を目指し、ALT通信の発行、小学生が1日を通して英語に親しむ「チャレンジングリッシュ」や教師向けの英語の勉強会などを予定している。文部科学省の教科調査官が、「英語とICTが、最も家庭間の格差が大きい。だからこそ、学校教育の中でしっかりと行っていくことが必要である」と話されている。将来の人材育成のために、子供たちが英語の学習に意欲的に取り組み、英語が好きな子供たちをたくさんつくることのできるような取組を通して、英語教育の推進を図っていきたいと考えている。

(質問等なし)

5. 連絡事項

学校教育課 宣誓式案内、年間行事資料の配付

教育施設課 泉第八小学校教職員住宅改築工事終了

教育サポートセンター 若手教員研修トワイライトセミナー
第1回の開催について

博物館 春季特別展覧会について

事務局 6月定例会日程確認 (6/30 10:00~)

第1回総合教育会議日程確認 (6/22 15:00~)

6. 会議録署名委員の指名

高浪委員・松永委員

(午前11時20分 閉会)

平成 年 月 日

署名委員

記録者
